



くみんこうりゅう う だ
区民交流センターまつりが生み出すもの
 あおばこくさいこうりゅう やくわり
青葉国際交流ラウンジの役割とは



くみんこうりゅう



かいさい



区民交流センターまつり開催

2005年11月23日、青葉区区民交流センターで「区民交流センターまつり」が開催されました。屋台にはペルー、韓国、中国やフィリピンの料理が並び、田奈農協のテントでは野菜を買い求める外国人の姿もありました。餅つき大会や盆踊り、さらに、人形劇や子供の遊び、絵手紙などの楽しい催しが自白押し。センターを広く知ってもらうことに加え、利用者の交流を目的とした「区民交流センターまつり」は、2000人の来場者であふれました。

青葉区区民交流センター

ここでは、区民活動支援センターと青葉国際交流ラウンジが同居しています。市民活動やボランティア活動の拠点であるとともに、地域の誰もが使えるコミュニティスペースもあり、毎日様々な人たちが訪れます。その中には外国人も多く、外国語が飛び交う日も珍しくありません。

青葉国際交流ラウンジとは

ラウンジは、外国人と地域住民の国際交流の拠点です。横浜市の委託を受けて市民ボランティアが運営。委託事業以外にも必要な活動は18年度より自主事業として行います。

ラウンジは、外国人が日本語を習ったり、相談をしたりできる「気軽に立ち寄れる場」。横浜市は全区にこのような場所を作ろうとしています。

多文化共生都市へ

横浜市では、長期ビジョン「20年後のあるべき都市像」の策定を、外国人も参加して進めています。その中で、多様な文化を持つ市民と共に生きる姿勢を強く打ち出しました。

まちづくりには、地域で生活する人たちが出会い、話し合い、発見し合うことが必要です。多様な文化が触れ合い、特色を創り出すことで新しい「横浜らしさ」が生まれるのではないのでしょうか？

ラウンジの役割

「センターまつり」は、人々の出会いの「場」、地域らしさを創り出す「場」など、多くの「場」を生み出しました。このおまつりを外国人が地域の人々と一緒に作る。そしてこの活動が大切だと共感する人を増やす。これは、ラウンジの大切な役割です。こうした出会いの「場」を活かしながら、求められる役割に向かって、ラウンジは新たな取り組みを始めます。

外国人ボランティアのための研修講座

「外国人ボランティアのための研修講座～災害の時、あなたならどうする?～」が今年の10月から12月、計4回の連続講座として実施されました。

第1回「新潟県中越地震から学んだこと」

第2回「救命救急を学ぶ」

第3回「地域の防災訓練に参加する」

第4回「横浜市、青葉区の災害に対する準備について～外国人住民への対応～」

第2回講座では、人工呼吸や心臓マッサージ、AED電気ショック)の扱い方を体験し、修了証も取得。研修生からは「言葉を使った説明よりも実際に体験できて良かった」との感想が多く聞かれました。



第3回講座は、恩田小学校での防災訓練に参加。仮設トイレの組み立て方や救助用品の使い方を学びました。研修生たちは、話を聞き漏らすまいと真剣そのもの。災害時に必要な知識を得ようと一生懸命でした。ある研修生は「困っている人の役に立ちたいというわたしたちの気持ちに応えたこの講座にはとても意味がある」と声を寄せてくれました。

ラウンジでは、講座内容の充実を図るとともに、講座を修了した研修生たちが活躍できる「場」を提供することで、これからも外国人のボランティア活動をサポートしていきます。



ねんど こくさいじどうがてん 2006年度の国際児童画展

国際児童画展は、毎年異なったテーマで、日本をはじめヨーロッパ、アメリカ、アジアの小中学生から絵を募集、展示して早や10年目になりました。世界から集まる絵はそれぞれ個性的であり、お国柄を反映して展覧会に訪れる人たちに喜ばれています。また近隣の学校の行事、福祉施設、地区センターなどの公共施設や郵便局などに貸出たり巡回展示をして、地域の国際理解に貢献しています。日本の子供たちの絵は展覧会のあと海外に送られ、日本理解に大きな役割を果たしています。



アートフォーラムあざみ野にて



区民ホールでの展示作業

日本の児童画をはじめて見た驚きや喜びの手紙が世界の各地から届きます。

2005年度は恒例の青葉区役所区民ホールでの展示、近隣の施設への巡回展示に加えて、初めて区民交流センターまつり(田奈ステーション)、青葉区民芸術祭

(アートフォーラムあざみ野)などにも参加しました。

2006年度からの児童画展は青葉国際交流ラウンジの自主事業の一つとして活動することになります。

これからも国内外の児童画を通して、より一層多様な文化にふれるチャンスを提供する予定です。

参加作品はホームページに展示中

<http://aoba-lounge.sakura.ne.jp/exhibition2005/toppage.html>

日本語が身につく秘訣は？

スピーチ大会の発表者にインタビュー

2月12日(日)、ラウンジ主催「外国人による日本語スピーチ大会」が行われました。アートフォーラムあざみ野レクチャールームは、開演前からたくさんの人でにぎわい、あっという間に満席となりました。

その中で、9カ国、15名の皆さんが日本語学習の成果を発表しました。工夫を凝らした発表が続くうちに、聴衆は話に引き込まれ、会場が一体となって笑ったり涙ぐんだりして大成功のうちに終わりました。



スピーチ大会の様子は下記サイトで
<http://aoba-lounge.sakura.ne.jp/eventtop/speech2005/speech2005.htm>

韓国の大学で日本語を専攻したのは、単に文字に興味があったから。でも、ある出会いが洪さんを変えていきました。はにかむ彼女の口からこぼれた出た一言は「ロンバケ…」

それは、日本でも大人気だった、木村拓哉主演の恋愛ドラマ「ロング・バケーション」のことでした。「冬のソナタ」が日本でブームになったように、韓国では日本のテレビドラマが流行っているというのです。ドラマのビデオを何度も観るうちに、彼女の日本語はどんどん上達していきました。

そして日本の大学へ留学して10ヶ月。ラウンジの日本語教室にも通い、スピーチ大会で発表ができるまでになりました。

「韓国と日本の違いは、若い人が年の差をあまり考えていないところ」

その理由について、彼女は冷静に語ります。

「それは日本の若者が礼儀がないのではなく、お年寄りだから席を譲らなくてははいけないという考えがないからではないでしょうか」

「日本人は『すみません』という言葉をよく使います。でも『ありがとう』という言葉もよく使います。バイトで何かしてあげたとき、仕事だから当たり前なのに『ありがとう』と言われて、とても嬉しかった」



キラキラした瞳が印象的な洪さん。帰国した時には、日本での思い出を家族や友達に、たくさん話したいということです。

発表者の一人、韓国出身の洪シネさんに、日本語が上達する秘訣を伺いました。洪さんは、日本に来て10ヶ月になる大学生です。題は『日本のことを持って帰りたい私』でした。

「日本が好きになったのは高校生のときです。テレビで日本の様子を紹介していました」

とても上手な日本語で、でも日本人とは違う角度から物事を眺めます。

「ひらがなって絵みたいで、とってもかわいいから大好き。五十音表に惹かれるものがありました。る、ゆ、の、など『丸く書く、つながっている、流れるような感じ』が面白い。一気に書ける文字は、ハングルにはありませんから」

お知らせ

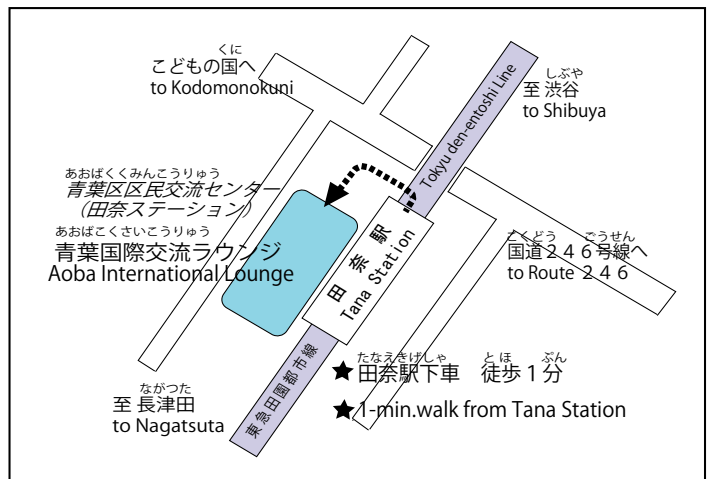
「ラウンジニュース」と「たまてばこ」は一本化して新たな情報広報紙に生まれ変わります。

- 配布場所：区役所、地区センター、主要駅の横浜市PRボックスなど

新ラウンジニュースにご期待ください。

「ラウンジニュース」と「たまてばこ」のバックナンバーはラウンジホームページの資料コーナーにあります。

<http://aoba-lounge.sakura.ne.jp/archives/archives.html>



INFORMATION

Guide from Aoba Lounge

ラウンジ発の新しいスタイルの地域生活情報です。
誰もが安心して住める共生のまちづくりをめざして
日本人と外国人、みんなに役立つ情報をお届けします。

おはなみじょうほう

お花見情報



～ It is time to enjoy cherry blossom viewing ! ～
いよいよお花見の季節ですね。
気軽にいける地域の桜スポットをご紹介します。

- 寺家ふるさと村 (青葉区寺家町)
東急田園都市線「青葉台」駅から、「鴨志田団地」行きバスで、終点下車徒歩2分。のどかな田園風景を散策しながら、桜や季節の花を楽しむことができます。
- こどもの国 (青葉区奈良町)
東急こどもの国線「こどもの国」駅から徒歩3分。広い園内には、約1000本の桜の木があります。開花に合わせて、いろいろなイベントも行われます。
<http://www.kodomonokuni.org>

- 十日市場～霧が丘 (緑区)
JR「十日市場駅」から霧が丘方面へ、環状4号線沿いに3kmに及ぶ桜並木があります。歩道もあるので、ゆったりと散策することもできます。
- その他の情報は、こちらをどうぞ
<http://www.city.yokohama.jp/me/aoba/spot/#hanami>

イベントカレンダー

- 第30回アフタヌーンティー 「ハイデルブルグの春」
ゲスト：岩崎アンネローゼさん (ドイツ出身)
3月17日 (金) 14:00～16:00
定員：30名 参加費：200円 (茶菓あり)
場所：田奈ステーション会議室
- 語学ボランティア研修交流会 (公開)
ゲスト：パーリット セービンさん
3月25日 (土) 14:00～16:30
定員：60名 (要予約) 参加費無料
場所：アートフォーラムあざみ野セミナールーム
詳細はラウンジ窓口にお問合せください。

こそだてじょうほう

子育て情報

子供たちの豊かな成長を願って・・・
地域の様々な人々が連携して、子供たちに関わる課題を解決しようとしています。その一部をご紹介します。

- ラウンジに登録している自主グループの活動
 - ① 共学舎：外国人児童・生徒の学習支援
 - ② みどり日本語の会：日本語教室や生活相談
 - ③ こくさいこども MAT: 外国人親子のイベント企画・実施
 - ④ サロン・デ・チャルス：外国人と日本人の親子交流の場づくり
 - ⑤ ハップティ・ダップティ文庫：帰国児や外国人児童の文庫活動
 子供たちに関わる課題について、ラウンジの役割や機能を考え、実現化しようと努力しています。
- アートフォーラムあざみ野の定期的な活動
 - ① 「親子のひろば」：親子ついで交流ができる場
 - ② 「保育室」：施設利用者の一時保育の場
 - ③ 子どものアトリエルズ：「親子のアーティン」「わくわくワークショップ」
 ☎①② 045-910-5700 (男女共同参画センター横浜北)
☎ ③ 045-910-5656 (横浜市民ギャラリーあざみ野)
- 公共施設で入手できる横浜市からの情報
 - ① 「みんなで育てるハマの子ども」：子供たちの「学び」情報紙とホームページ掲載
 - ② 「ぽれぽれあおば」：青葉区親子子育て情報紙
 - ③ 「身近な地域の子育ての場一覧」：交流の場紹介
通訳が必要な時は、ラウンジに問い合わせを。
- 青葉ラウンジ情報ライブラリーからの子育て情報
 - ① 「0歳からの教育」：Newsweek 日本語版
 - ② 「日本の母子保健医療・子育てガイド」(外国語/日本語併記)
- インターネットホームページからの役立つ情報
 - ① 「横浜子育て情報局」
<http://www.city.yokohama.jp/me/kosodate/>
 - ② 「こどもの救急」：<http://kodomo-qq.jp/>